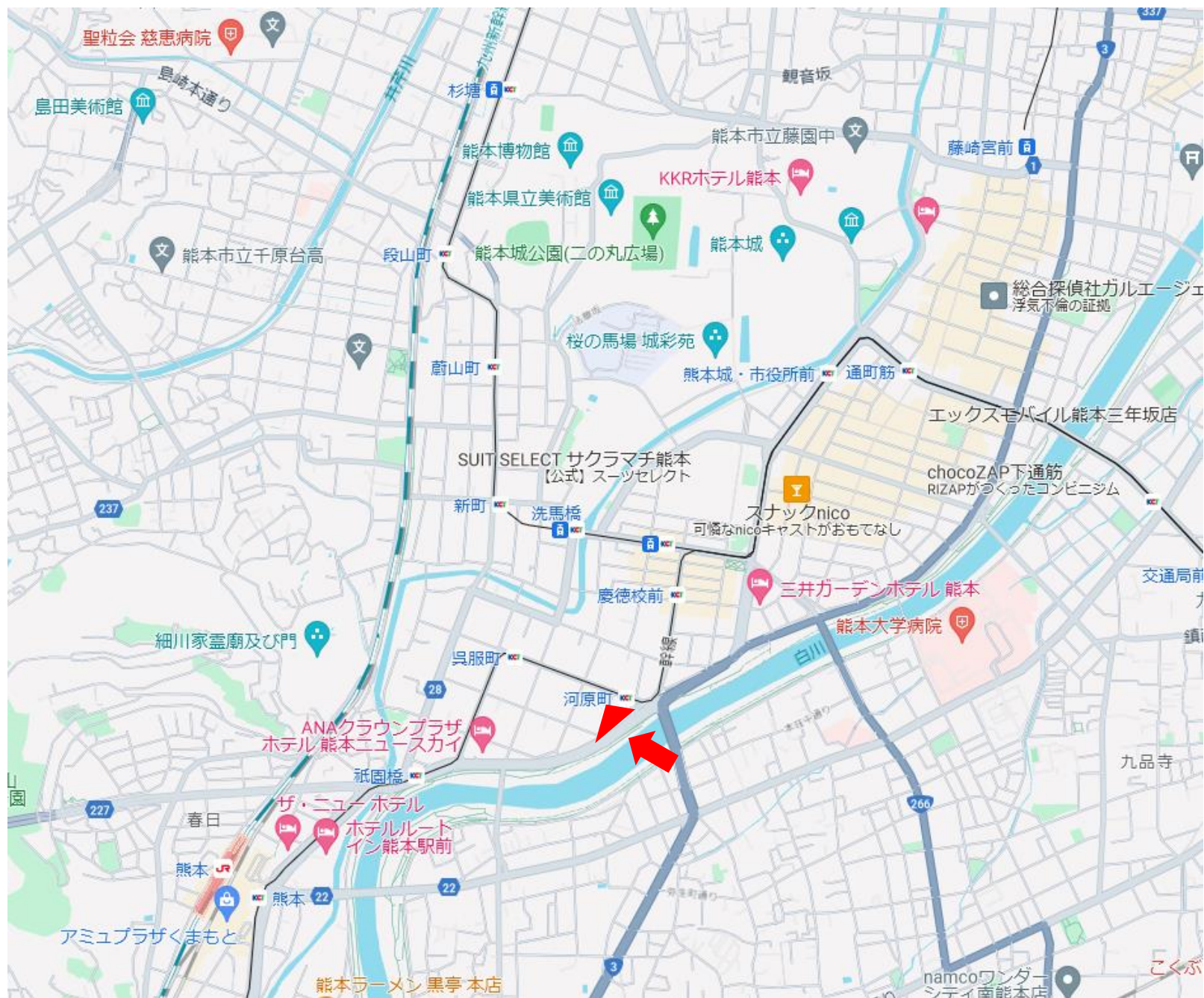




Architecture & Dining

白橋祐二

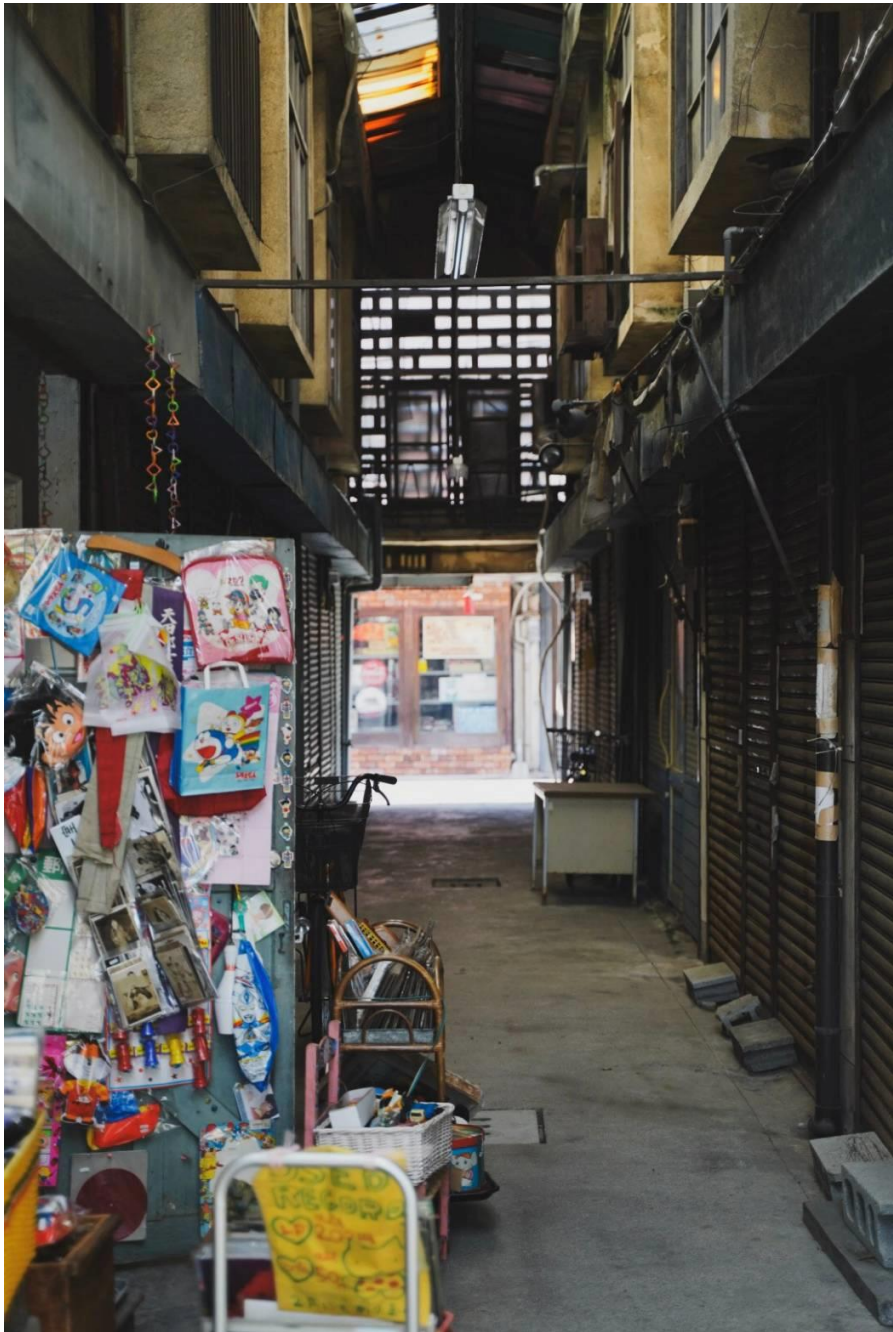
モク活 × 街の木質化



河原町繊維問屋街



河原町繊維問屋街



河原町纖維問屋街







1957年 「国際市場」時代の住宅地図

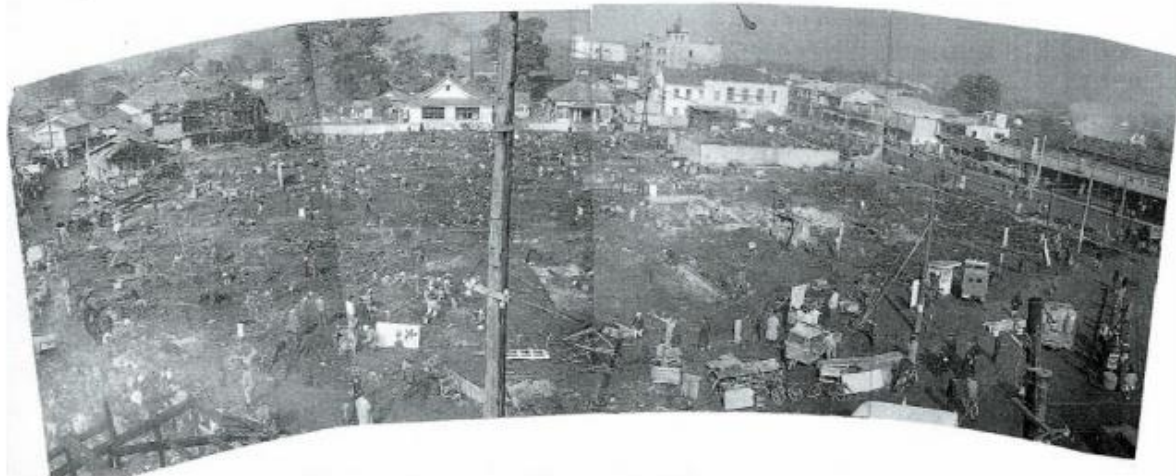


- 1945年

第二次世界大戦によって戦火を免れず
→焼け跡に闇市「長六国際繊維市場」

- 1958年

火事により、ほぼ大半が焼失



「熊本市消防局50周年記念会報誌」 日日新聞情報文化センター出版(p57)より引用



写真1 「長六の大火」後に建てられた店舗兼住宅用ビル



写真2 店舗兼住宅用ビルの内部



写真3 店舗兼住宅用ビルの内部（2階から撮影。2階部分が6畳の居住用スペース）



写真4 「国際繊維入口」の看板

- 1958年

繊維組合によって共同ビル建設

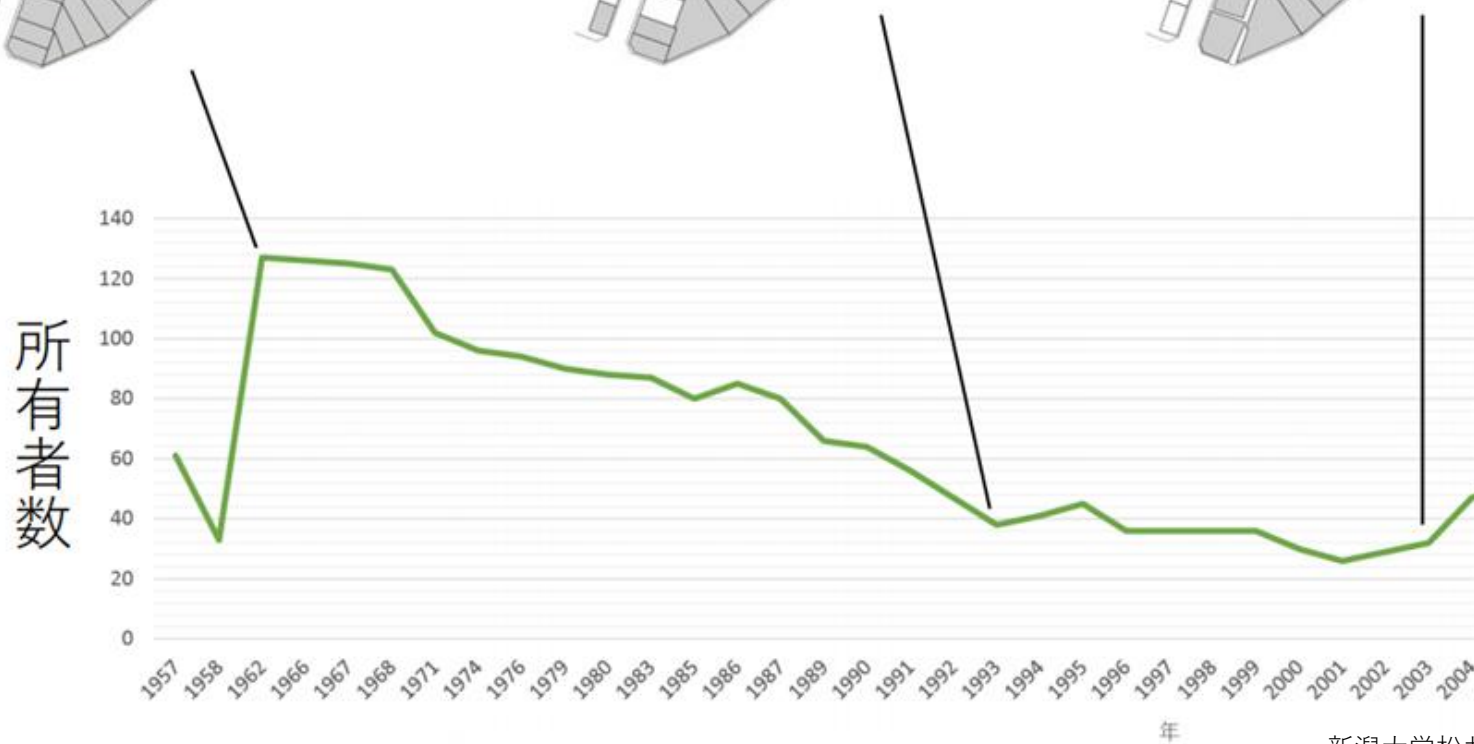
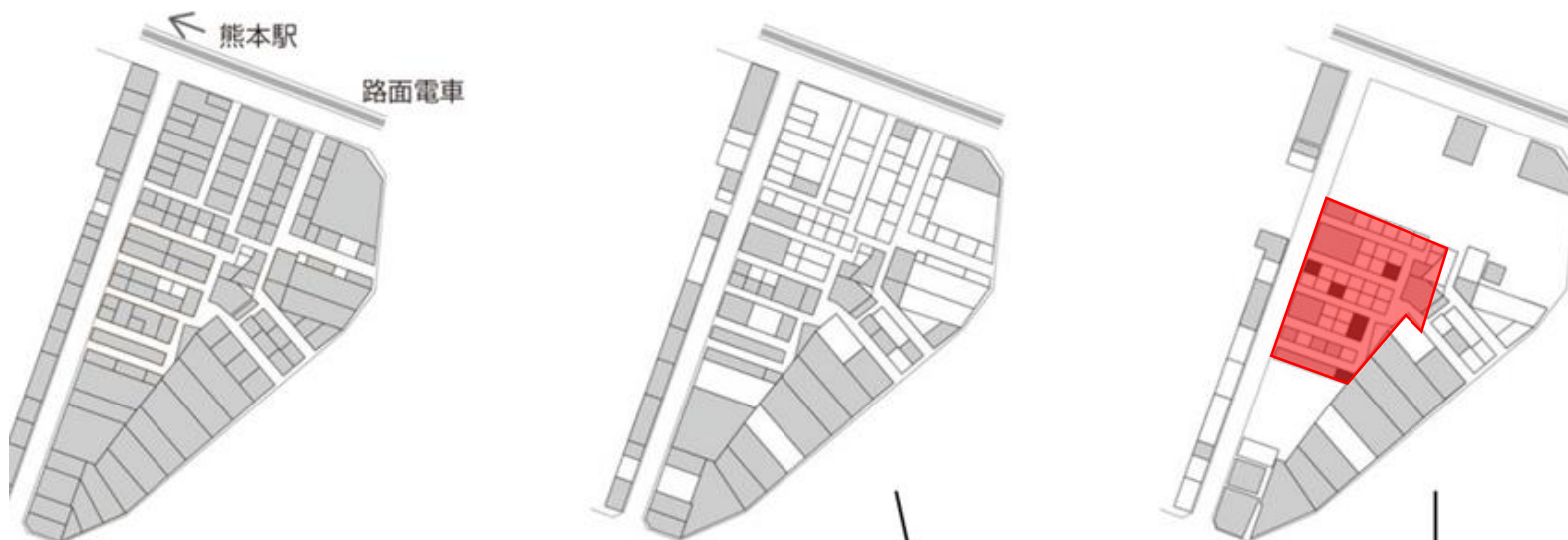
↓
繊維の需要低下、
流通構造の変化
空き家の増加



B氏提供資料より引用

- 2003年

プロジェクト開始、リノベーション・新規出店



建物、街を守る















河原町感謝祭^{vol.3}

日時：4月20日（土）

11時～17時

場所：河原町繊維問屋街

現代に残り続けた昭和の河原町繊維問屋街これまでもこれからもこの街を残してくれた人達に感謝を込め、子供も大人も楽しみながら次世代に繋ぐためのイベント。

当日は河原町店舗に加え、その他のマルシェで活躍している店舗さんも参加してくれます。眺めるだけでも楽しい、バザーやお子様楽しめるイベントも用意しております。

















河原町感謝祭 vol.4

日時
2024/8/23(金)
15:00~21:00

場所
河原町織帷同屋街
※雨天決行

主催
河原町感謝祭実行委員会
共催
河原町織帷同屋組合



河原町感謝祭とは

時代に残り続けた昭和の河原町
織帷同屋街にこれからもこの街を
残してくれた人達に感謝を込めて
次世代に繋ぐためのイベント。

今回は『宴』と称して『ウタガ』で
『エン』ができればと思います。
お客様には酒とスイーツを
メインに河原町を楽しんで
いただけたらと思います。

酒とスイーツ

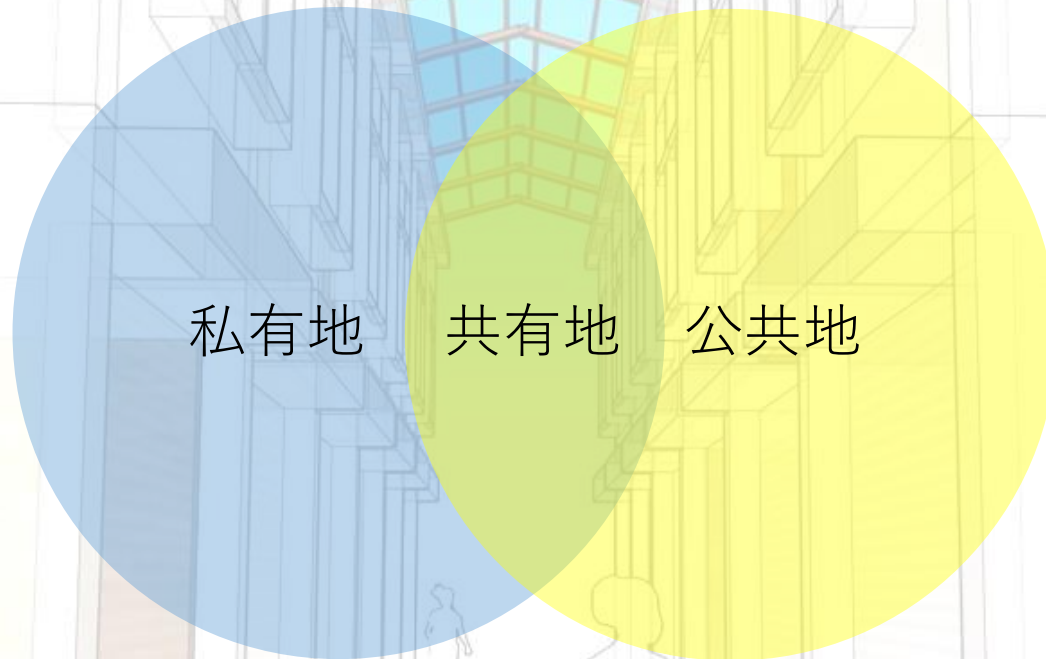




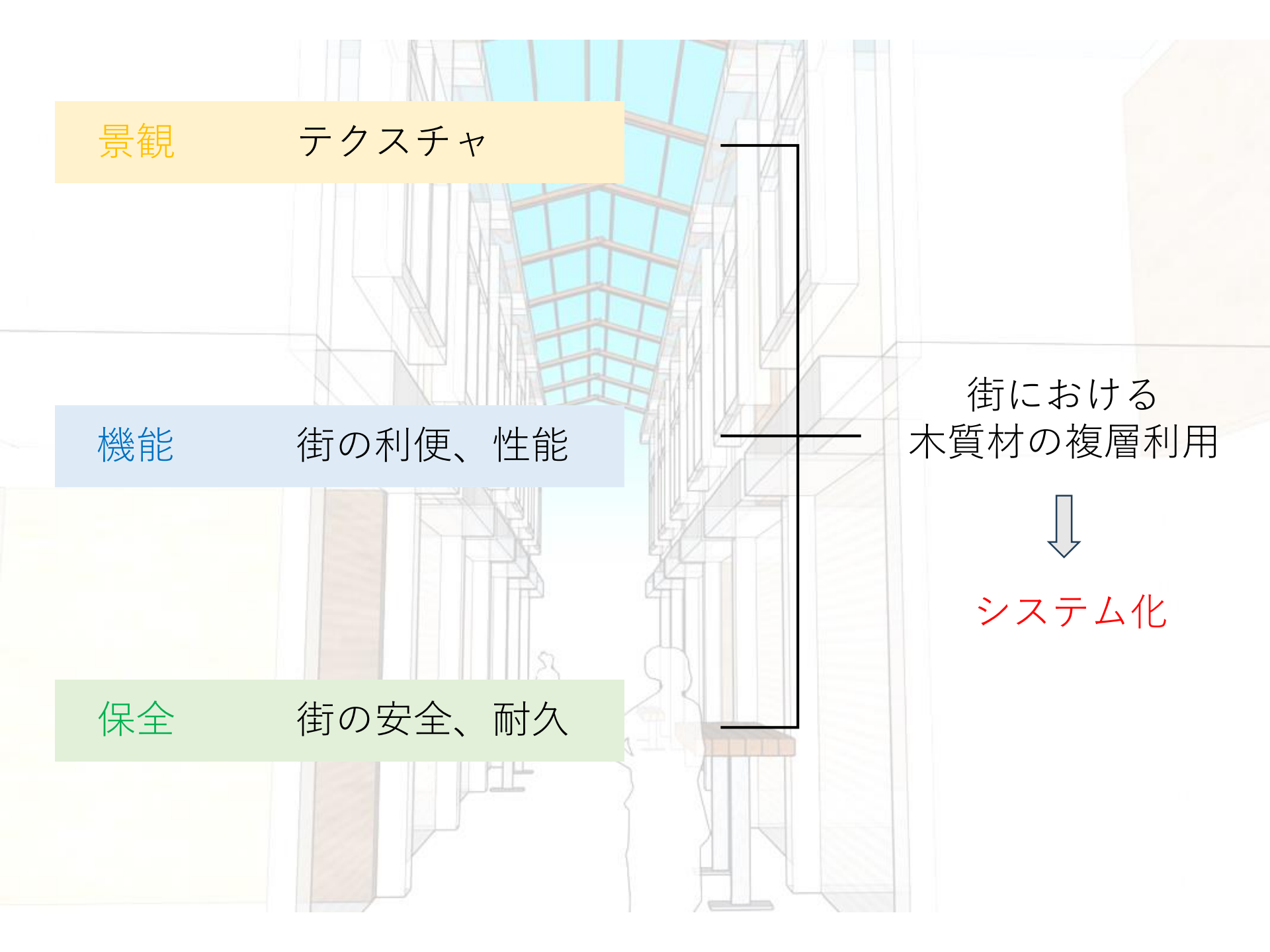




既存建物を木質改修による改善



それぞれの土地に合わせた街の木質化



景観

テクスチャ

機能

街の利便、性能

保全

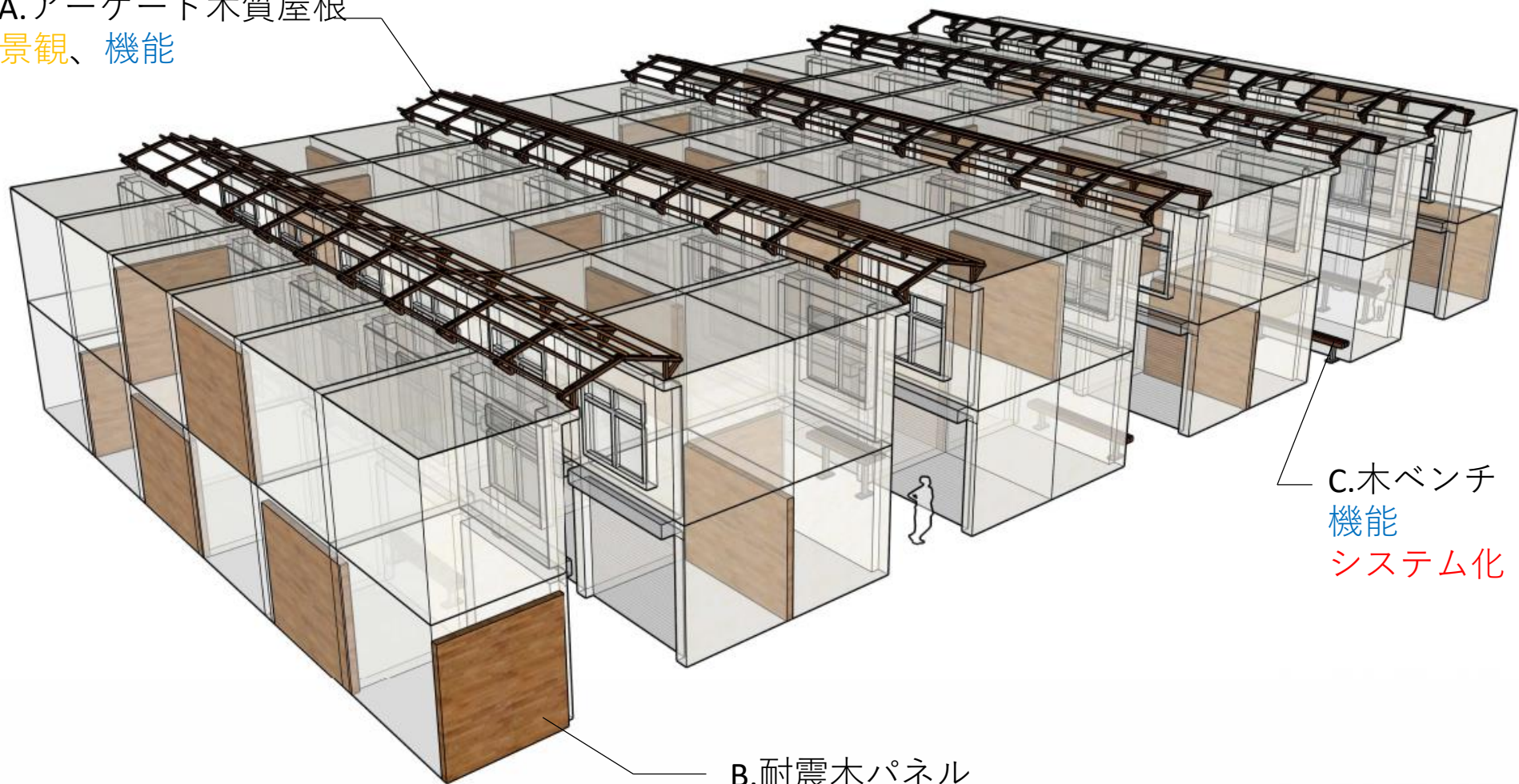
街の安全、耐久

街における
木質材の複層利用



システム化

A.アーケード木質屋根
景観、機能



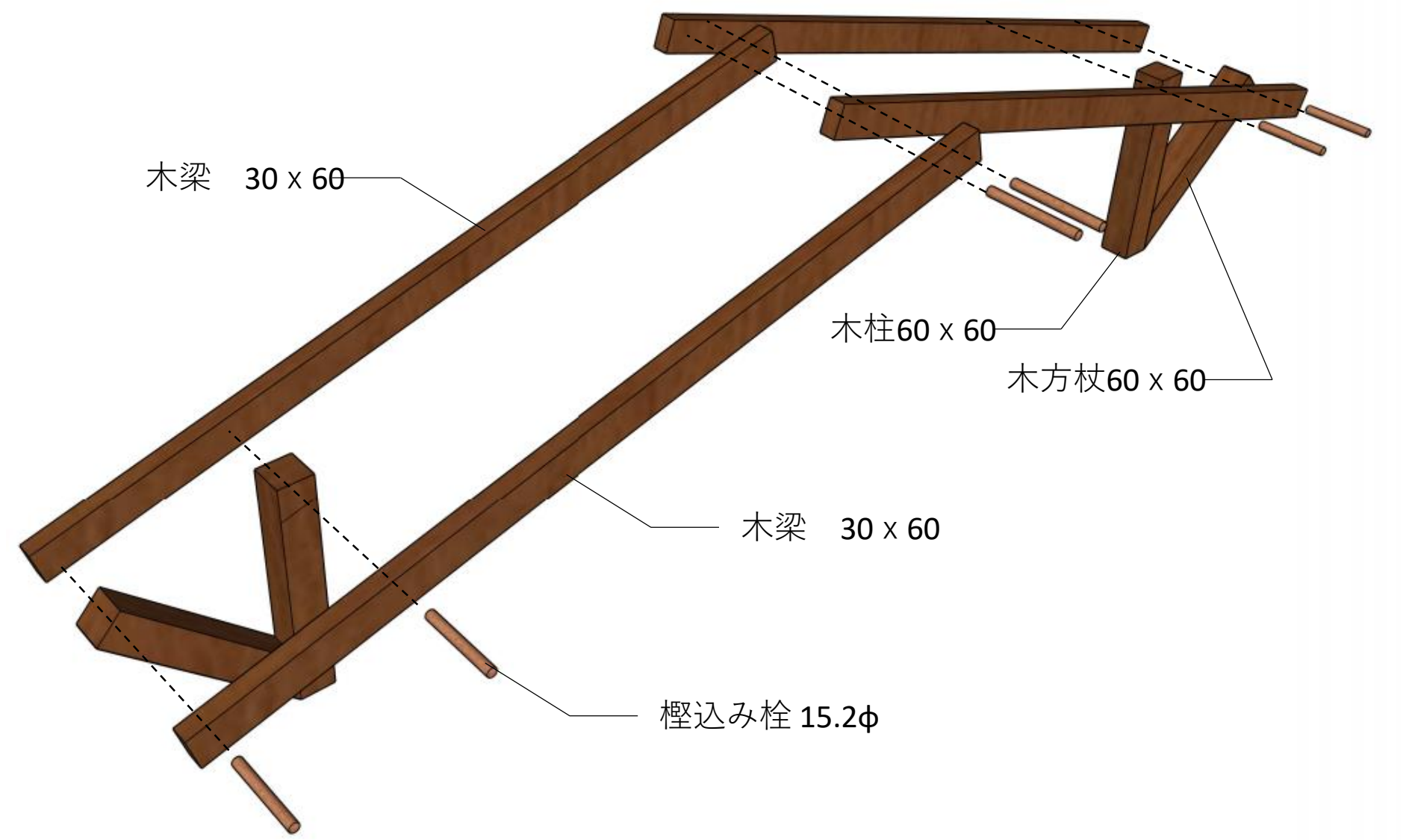
B.耐震木パネル
保全

C.木ベンチ
機能
システム化

A.アーケード屋根



A.アーケード屋根



木梁 30 x 60

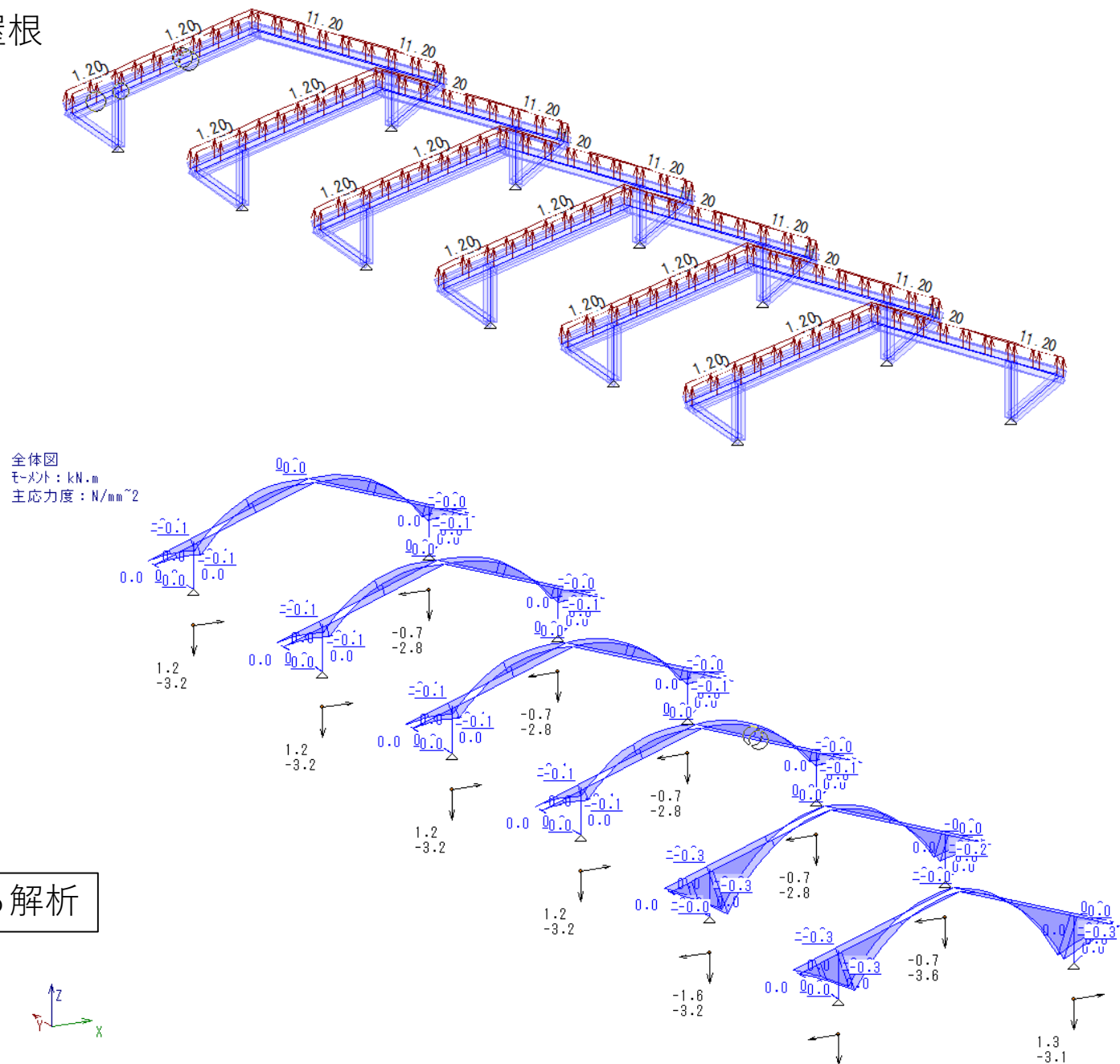
木柱 60 x 60

木方杖 60 x 60

木梁 30 x 60

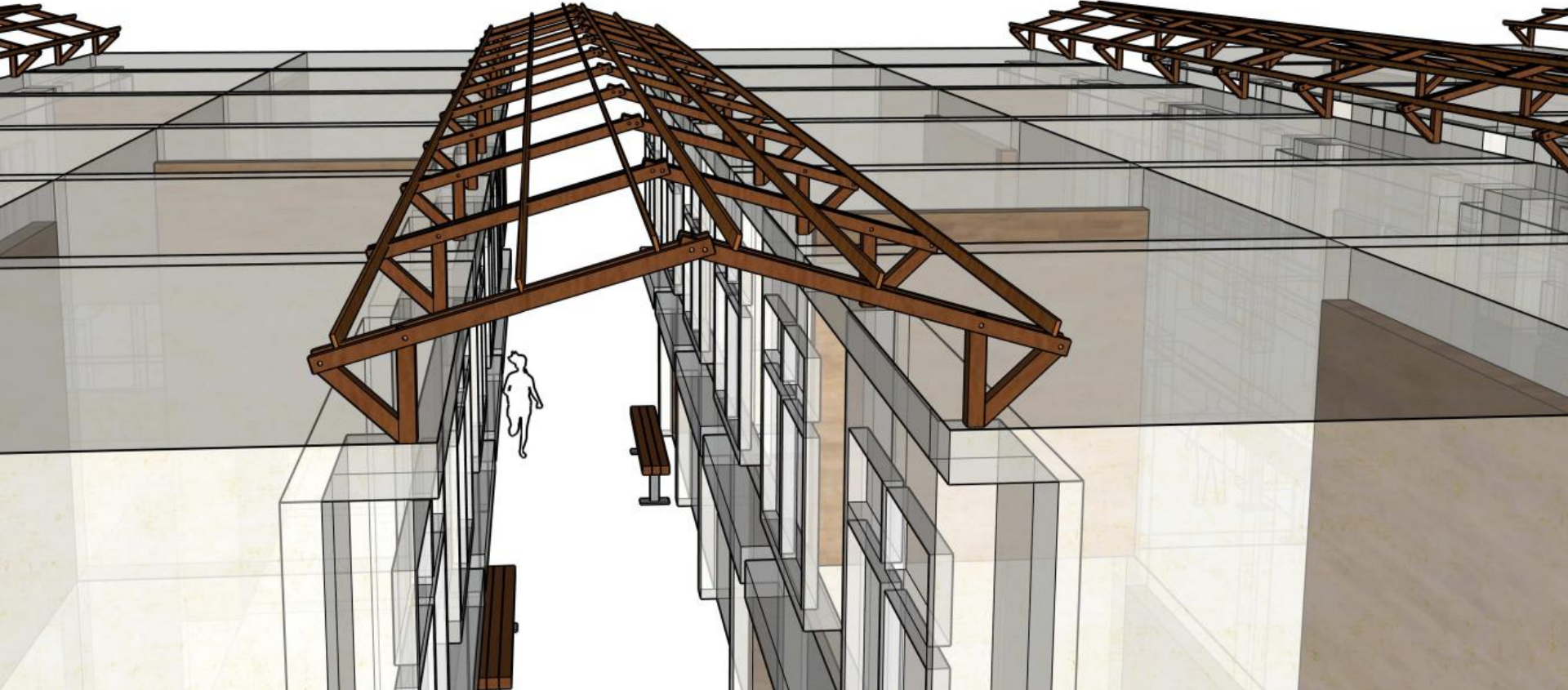
楔込み栓 15.2φ

A.アーケード屋根



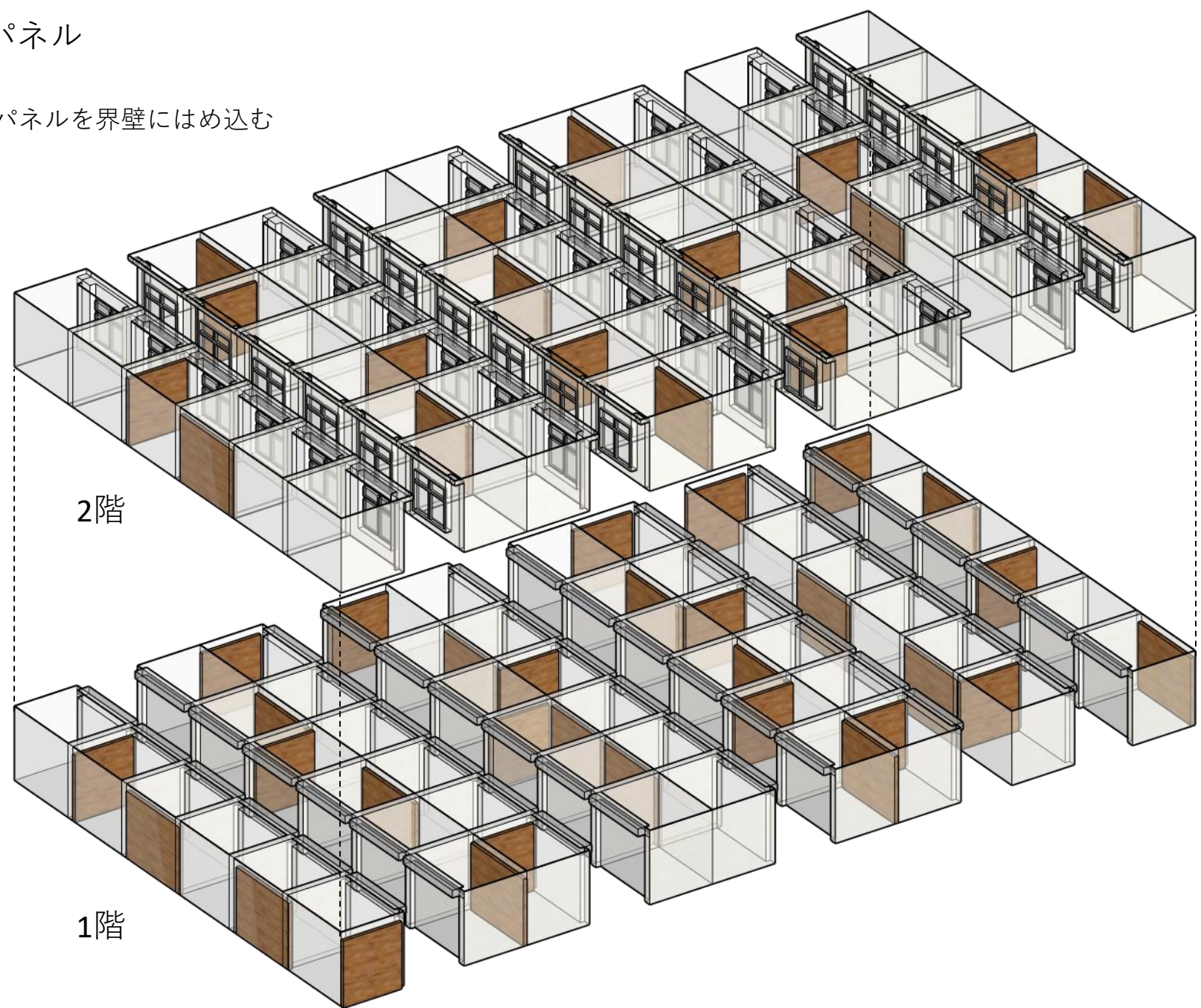
A.アーケード屋根

- ・ 構造上は与条件（地震や風など外力）はどの材料でも同じ。
- ・ 外力に対して安全性を確保できる数値はどの材料でも同じにできる。
→木造は特に部材の異方性、接合部、水に対する劣化は要検討
- ・ ただし、状況において有利不利は当然発生する。
→建築的な要求スパン、厚み、開放性、立地性

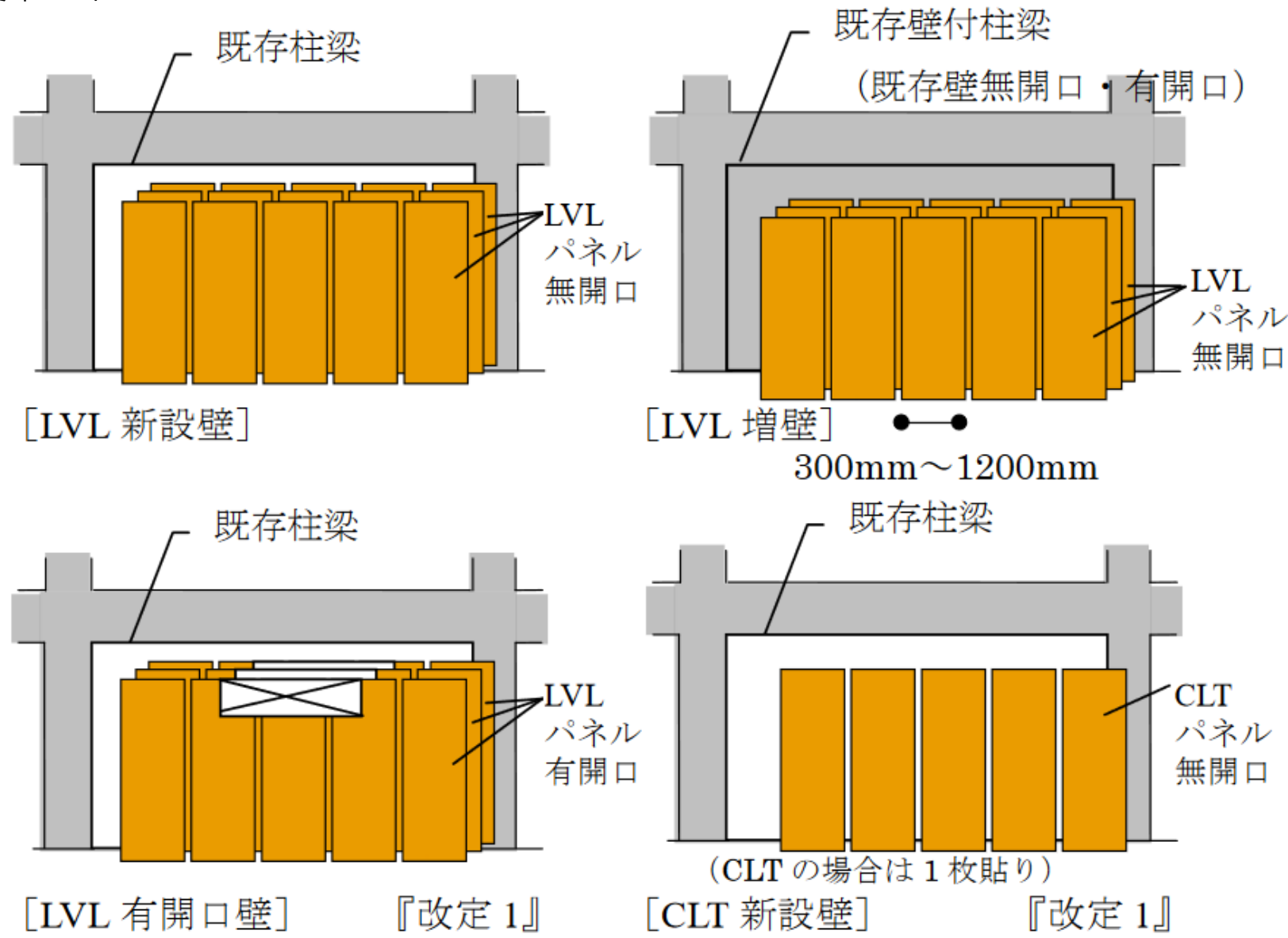


B.耐震木パネル

耐震木パネルを界壁にはめ込む



B.耐震木パネル



LVL , CLT耐震補強 施工方法

B.耐震木パネル

令和2年度 林野庁補助事業

木材産業・木造建築活性化対策のうち

中高層建築物を中心としたCLT等の木質建築部材の利用促進事業のうち

CLT等の利用促進及び低コスト化の推進に係る

技術開発・検証等（耐震補強提案等）事業

事業報告書

令和3年3月

一般社団法人 日本CLT協会

B.耐震木パネル



(1)最大変形時 試験体全体



(2)最大変形時 CLT のせん断破壊



(3)最大変形時 下梁接合部の浮き上がり



(4)最大変形時 下梁端部

写真 3. 2. 3. 2-4 ④T2-S 損傷状況

B.耐震木パネル

CLT木材



LVL木材



NLT木材



DLT木材



B.耐震木パネル

- ・既存建物の耐震補強は搬入や施工性の問題から、軽量な木パネルは相性が良い

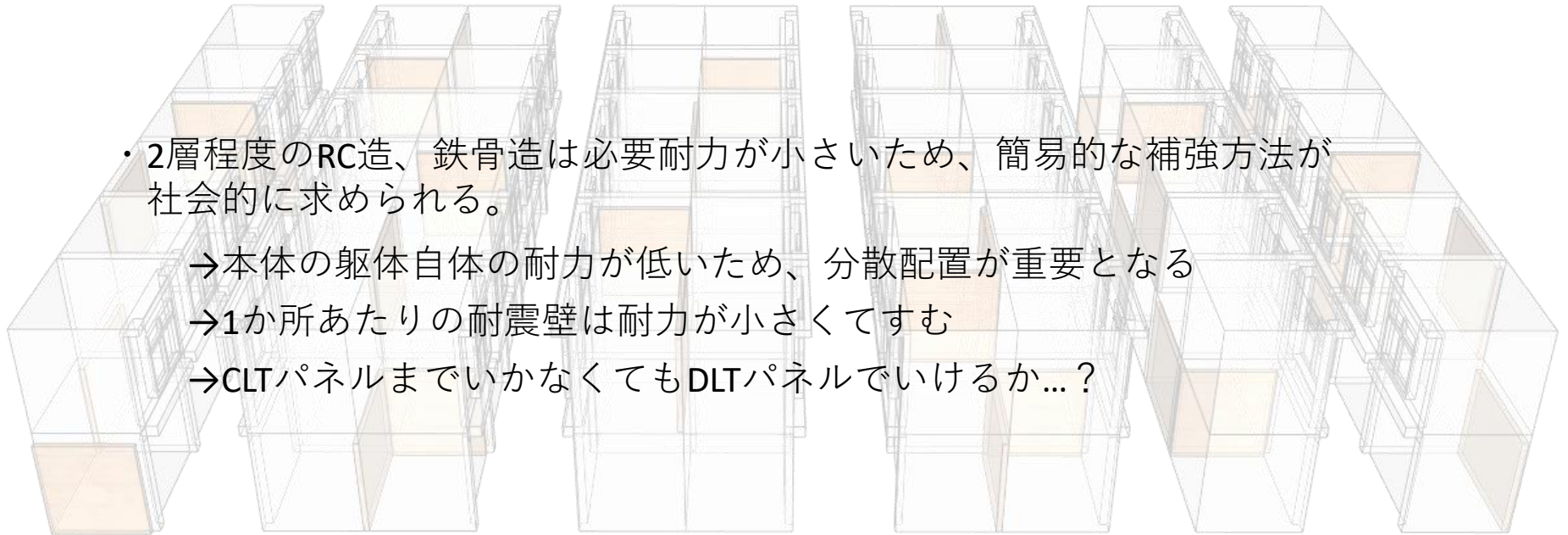
- ・2層程度のRC造、鉄骨造は必要耐力が小さいため、簡易的な補強方法が社会的に求められる。

→本体の躯体自体の耐力が低いため、分散配置が重要となる

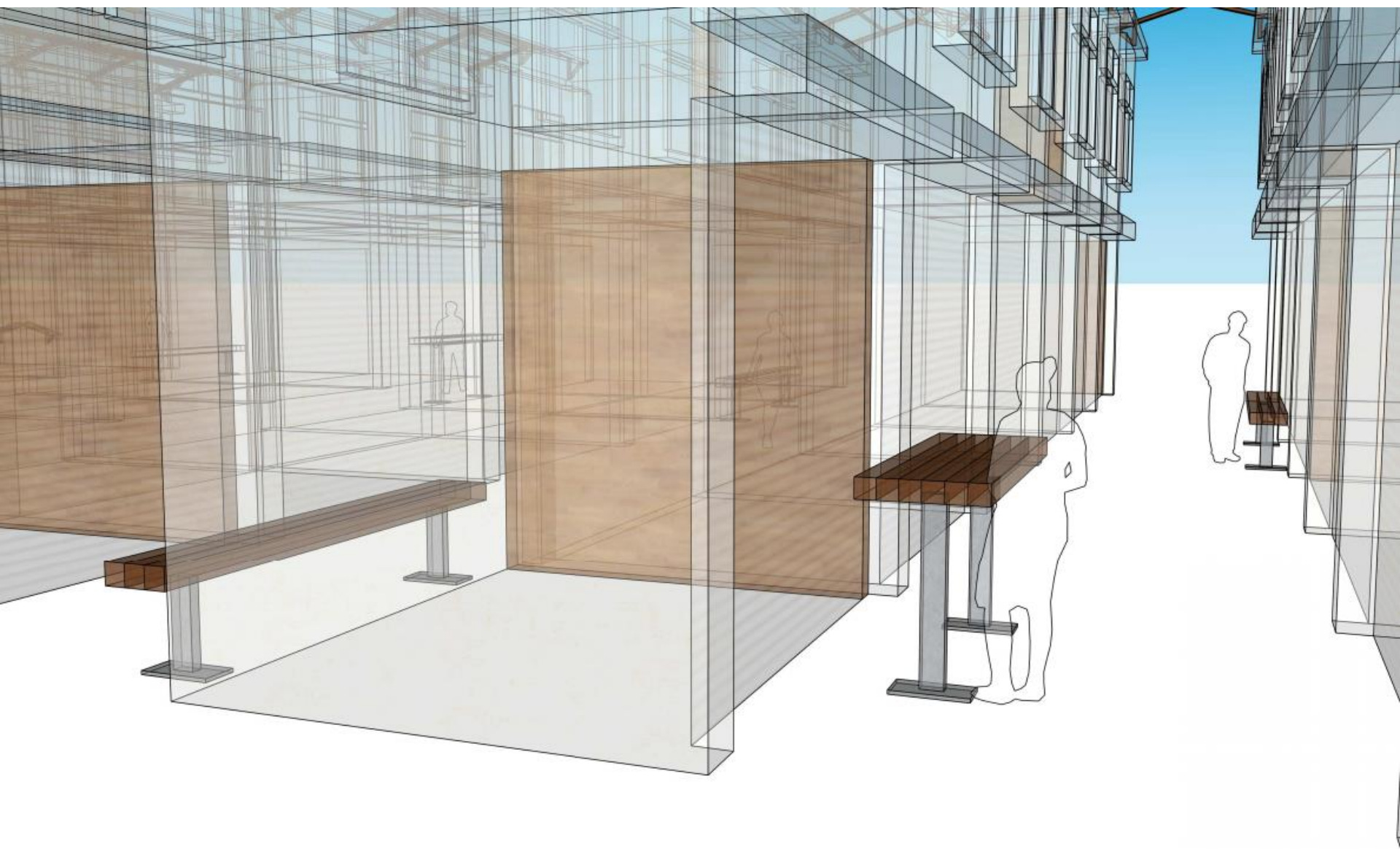
→1か所あたりの耐震壁は耐力が小さくてすむ

→CLTパネルまでいなくてもDLTパネルでいけるか...？

- ・耐震木パネルは研究が途上段階で、十分な実験や論文が少ない。



c. 木ベンチ、デスク



C. 木ベンチ、デスク
子飼商店街木ベンチ

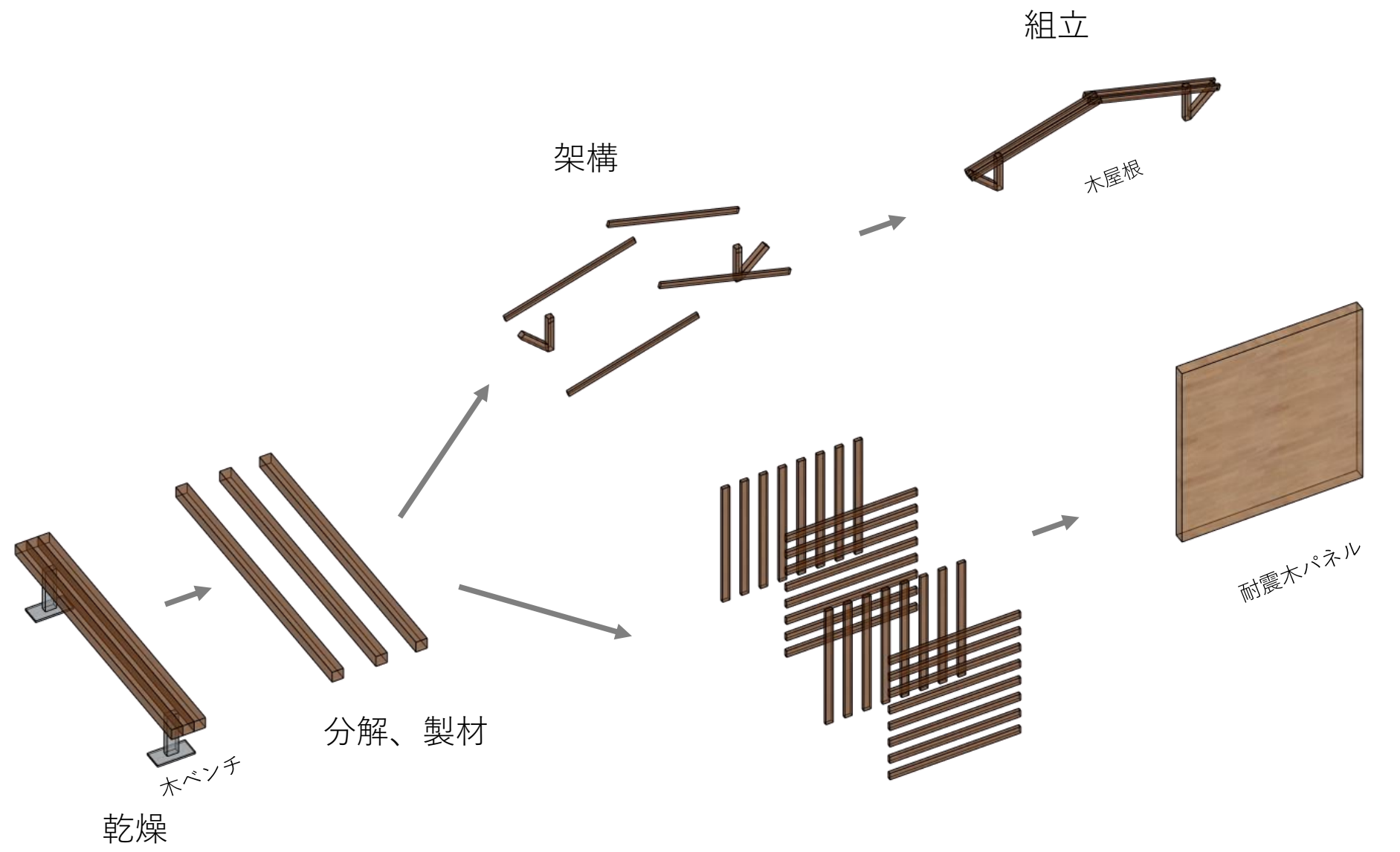
製材 120 x 120
2.5m材



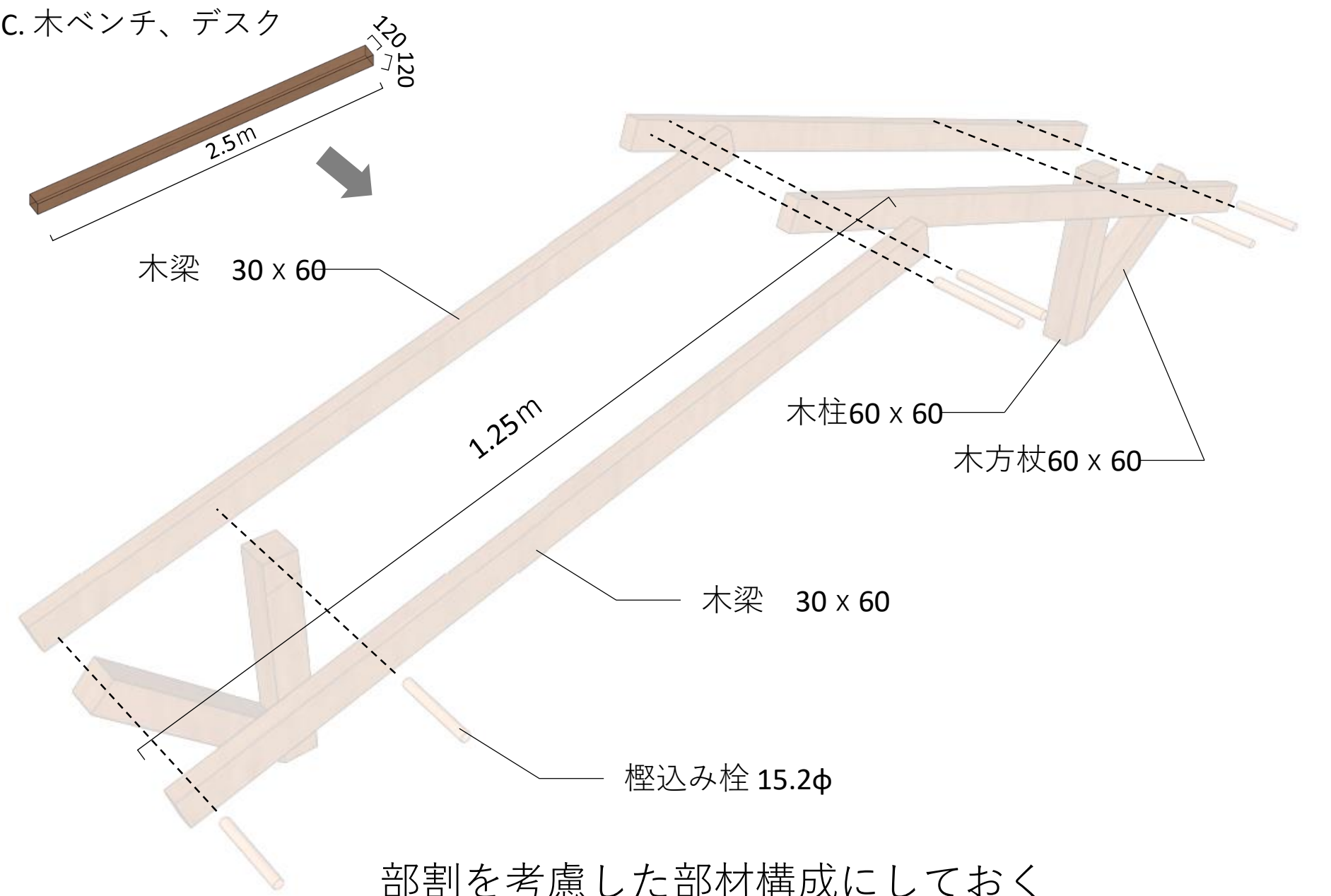
鋼製フレーム
→製材をはめ込むだけ



C. 木ベンチ、デスク



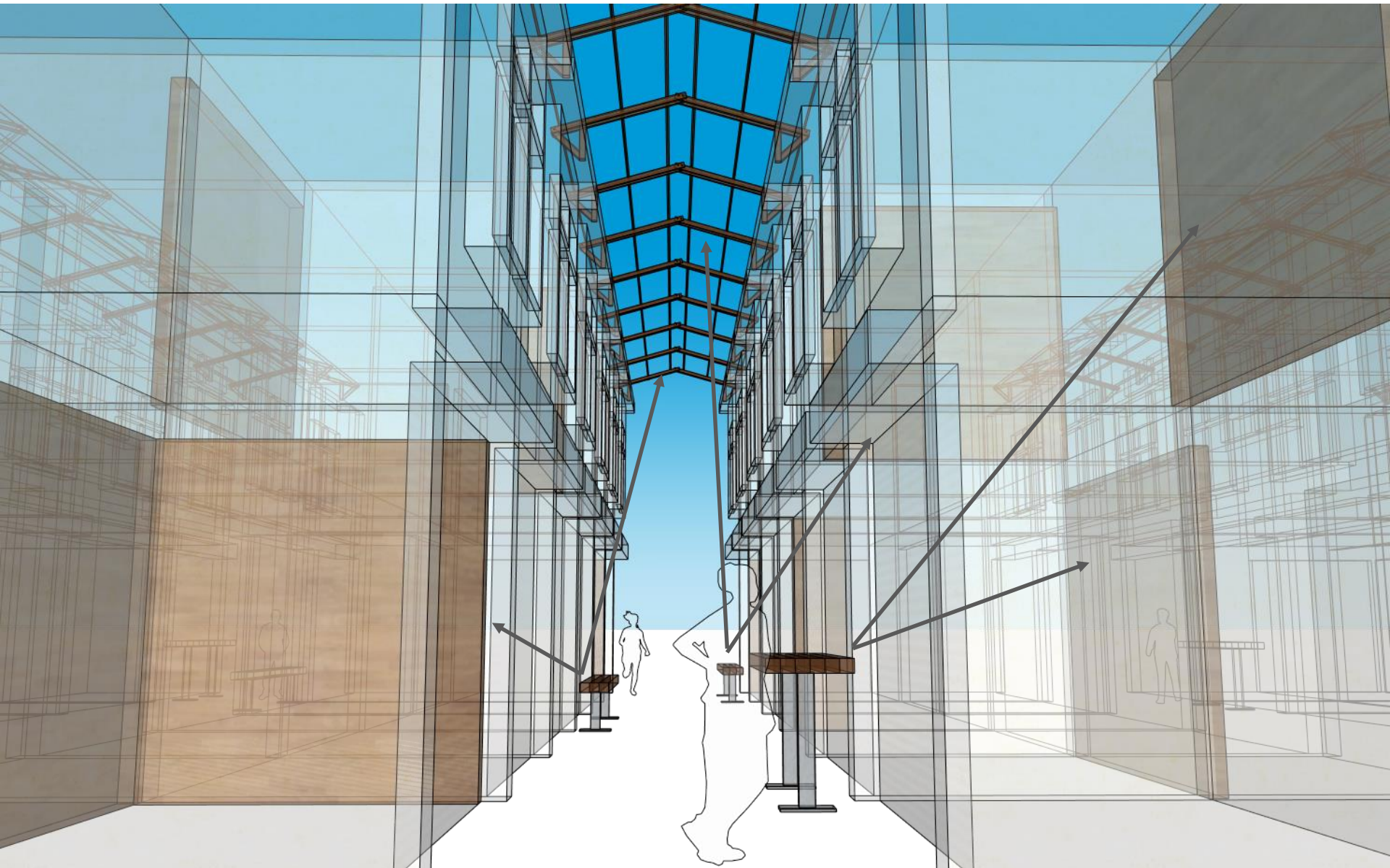
C. 木ベンチ、デスク

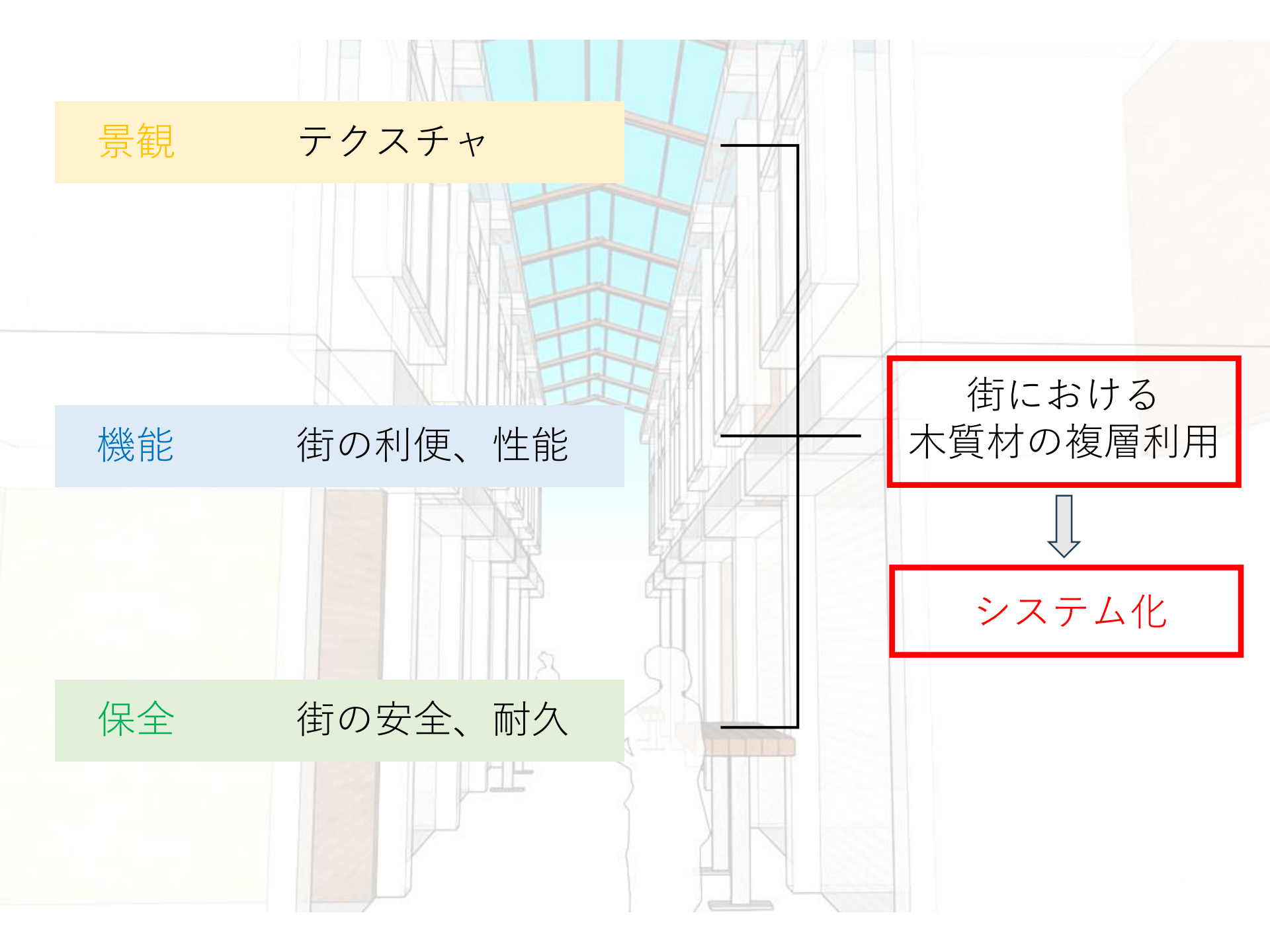


部割を考慮した部材構成にしておく

c. 木ベンチ、デスク

木資源をフェーズによる使い分けによって適材適所の利用





景観

テクスチャ

機能

街の利便、性能

保全

街の安全、耐久

街における
木質材の複層利用



システム化

建物、街を守る

「ソフト」

人を整え、状況を安定させる

人間関係の構築

街に対する意思の創成

- 街の人たちと協力して屋根補修
- イベントを行って愛着を持ってもらう

「ハード」

建物を健全な状態にする

景観、機能、保全するシステムを構築

適材適所に対応した維持方法

→木質化との相性の良さ